\*1 愛媛大学社会共創学部（〒790-8577　愛媛県松山市文京町３番）

\*2 愛媛大学法文学部（〒790-8577　愛媛県松山市文京町３番）

E-mail of corresponding author: enter.your.email@ehime-u.ac.jp

投稿論文作成について

（テンプレートファイルについて）

地域 太郎\*1，共創 さくら\*2，愛媛 花子\*2

Making research paper

(About the template file)

Taro CHIIKI\*1, Sakura KYOUSOU\*2 and Hanako EHIME\*2

\*1 Faculty of Collaborative Regional Innovation, Ehime University
3Bunkyo-cyo, Matsuyama, Ehime 790-8577, Japan
\*2, Faculty of Law and Letters, Ehime University
3Bunkyo-cyo, Matsuyama, Ehime 790-8577, Japan

Abstract

The length of the abstract should be 200-300 words. In the beginning of the abstract, the subject of the paper should be stated clearly, together with its scope and objectives. Then, the methods, equipment, results and conclusions in the paper should be stated concisely in a sufficiently logical manner. The discussion on the results may also be stated to emphasize their importance appropriately.

Keywords : Term1, Term2, Term3, Term4,…(Show three to five keywords)

1.　緒　　　言

本文の文字数は，1ページ当たり，50文字×46行×1段組とする。また，文章の区切りには全角の読点「，」（カンマ）と句点「。」（ピリオド）を用いる。カッコも全角入力する。

本文中の文字の書式は，明朝体・Serif系（Century，Times New Romanなど）を利用し，章節項については，ゴシック体を使用する。

2.　原稿について

原稿枚数は，図表を含めて和文の場合で400字詰原稿用紙換算で約80枚以内，英文の場合で約8,000words以内とする。図表は原則として刷り上がり誌面の約2割以内とする。

本文の文字数は，1ページ当たり，50文字×46行×1段組とする。また，文章の区切りには全角の読点「，」（カンマ）と句点「。」（ピリオド）を用いる。カッコも全角入力する。

原稿には本文の前に要旨（日本語又は英語）を載せる。要旨には研究目的と結論を必ず記述する（必要に応じ研究の方法論も含む）。長さは200～300語程度で，途中で改行をしない。本文と切り離してそれだけを読んでも論文の内容がある程度把握できるようにすること（“～については，本文において述べる”，などの記述を避ける）。また，本文中の図・表・文献は，引用しない。キーワードは３～５語句とする。

脚注については，原稿1ページ下に本文との間に線を入れ，著者全員の所属機関名，所属機関所在地，代表著者1名のE-mailアドレスを書く。著者の所属機関名については，当該研究が行われた時点での所属機関名・部署名等を記載する。研究を行った後に著者の所属機関に変更があった場合は，投稿時の機関名を記入し，現所属についてはカッコ書きにて（現○○）のように，必要に応じて記載することもできる。

3.　結言

本文中に文献を引用する場合，引用を表す語句や文の後ろに文献番号（例えば[1]）を振る。文献を主語や目的語などに用いる場合，「文献[1]では、・・」などのようにして，番号のみの表現を避ける。

文　　　献

[1]　平成25年度県・市町連携事業「集落実態調査集計・分析支援事業」報告書，愛媛県 (2014)．

[2]　国土形成計画策定のための集落の状況に関する調査報告書，国土交通省 (2007)．

[3]　平成27年度過疎地域等条件不利地域における集落の現況把握調査報告書．国土交通省・総務省 (2016)．

[4]　小川鑛一，森政弘，平井明樹夫，土屋鎌一郎，湯原博光，ものの動きに関する感情分析，人間工学，Vol.25，No.4，pp.243—251 (1989).